ラージＬＣＤα メーターキット　取扱説明書

商品番号	：０９－０１－００５５：ＬＣＤメーターキット
	：０９－０１－１０２２：ステーキット
適応車種	：ＸＲ２５０ Ｍｏｔａｒｄ
	（倒立フォークモデル '０３以降）
フレーム番号	：ＭＤ３０－１７０００01～

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特　徴～

○ラージＬＣＤスピード＆タコメーターをボルトオンで装着出来ます。
またターン、ニュートラル、ヘッドライトＨｉ＆Ｌｏインジケーターランプも付属しています。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎ノーマルトップブリッジ車専用です。また、'０３ ＸＲ ＢＡＪＡ及び、'０３以前のモデルは、トップブリッジ形状が異なる為、取り付け不可。
◎当製品は '０３ ＸＲ２５０（オフロードモデル）に取り付け可能ですが、オフロード走行等の過酷な条件下でのステ－及びメーターの取り付け保証は出来ませんのでご了承下さい。
◎補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
◎外品のバッテリーレスキットとの同時装着はしないで下さい。
◎スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、ハイパーＣＤＩを除いて、他の点火系部品との併用はなさらないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。
◎当ＬＣＤメーターは、下記の事に注意してご使用下さい。
・表示部に使用している液晶の性質として、長時間直射日光を受けると液晶画面が黒くなります。
なるべく液晶部分に直射日光があたらないように気を付けて下さい。万が一変色した場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やして下さい。また、真夏等強い直射日光下で長時間放置した場合は、シミのような後遺症が残る等支障が生じる可能性がありますので、特に気を付けて下さい。
・本商品は完全防水ではありません。
湿度の高い状態でご使用になりますと、本体内に水分が侵入して画面が曇ってしまう可能性があります。曇ってしまった場合は、メーター本体裏面の配線コード取り出し部のゴムキャップを手前にずらし（配線を無理に引っ張らないよう慎重に行って下さい）、隙間を作り水分を乾燥させて下さい。
◎０９－０１－１０２２、ステーキットには、下記のメーターが取り付け可能です。
・０９－０１－００２　：ホワイト＆ブラックタイプ　￥６，５００
・０９－０１－００３　：ブラック＆グリーンタイプ　￥９，６００
・０９－０１－００５　：ＥＬタイプ　￥９，５００
・０９－０１－００５１：ＬＥＤタイプ　￥９，０００

⚠注意　下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

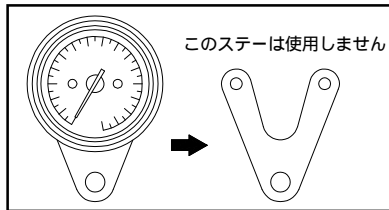
・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。
（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。
（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

Aug/28/ 03

⚠警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

番号	商品内容	数量
※１	メーターステー	1
※２	メーターサブコード	1
3	ＬＣＤスピード＆タコメーター	1
4	メーター電源用配線	1
5	パルス入力配線	1
6	６角フランジナット　5mm	2
7	プレーンワッシャ	4
8	クッションラバー	2
9	カラー	2
※１０	ハーネスカバー	1
１１	熱収縮チューブ	1
※１２	タイラップ　１５０mm	1
※１３	タイラップ　２５０mm	1
※１４	ＬＥＤインジケーターランプ（グリーン）	1
※１５	ＬＥＤインジケーターランプ（ブルー）	1
※１６	ＬＥＤインジケーターランプ（オレンジ）	1
※１７	アースコード	1

※印は、ステーキット（０９－０１－１０２２）の内容を示します。

～取　り　付　け　要　領～

１．フロントバイザの左右固定ボルトを外し、フロントバイザを取り外して下さい。
この時、ヘッドライトの３Ｐコネクタも同時に外して下さい。

２．カプラーステーのカプラー５個、左右ウインカーのカプラー、黄／赤コードのギボシを外し、スピードメーターケーブルをスピードメーターより取り外して下さい。
この時、ウインカーカプラーのクリアーハーネスカバーも取り外して下さい。

３．スピードメーターの固定ナット２個を外し、スピードメーター及びカプラーステーを取り外して下さい。

４．メーターステーの固定ボルト２本を外し、トップブリッジより、メーターステーを取り外して下さい。

５．①メーターステーに⑧クッションラバーを取り付け、⑨カラーを⑧クッションラバーに差し込んで下さい。

６．①メーターステーに⑭、⑮、⑯インジケーターランプをはめ込み、インジケーターランプ付属のスプリングワッシャ及びナットにて固定して下さい。

７．①メーターステーを、ＳＴＤボルトを使用して、ノーマルメーターステーと同じ位置に取り付け、固定して下さい。

８ａ．０９−０１−００５５

③ＬＣＤメーターのネジ部に⑦プレーンワッシャを通し、①メーターステーの⑨カラーにメーターネジ部を差し込み、⑦プレーンワッシャ、⑥フランジナットの順で取り付け固定して下さい。
メーターコードは、①メーターステーのひし形穴に通して下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

⑥フランジナット　Ｔ＝４．９Ｎ・ｍ(０.５ｋｇｆ・ｍ)

８ｂ．０９−０１−１０２２

別売りスピードメーターのネジ部に⑦プレーンワッシャを通し、①メーターステーの⑨カラーにメーターネジ部を差し込み、⑦プレーンワッシャ、メーター付属のナットの順で取り付け固定して下さい。
メーターコードは①メーターステーのひし形穴に通して下さい。
０９−０１−０２：ホワイト＆ブラックタイプメーター取り付け時は、ネジ部に⑰アースコードの丸端子部を、メーター付属のナットにて共締めして下さい。

９．⑩ハーネスカバーに、（２）で取り外したカプラーの青、赤、黒カプラー及び、ヘッドライト３Ｐコネクタ、左右ウインカーカプラー、黄／赤コードを通し、⑩ハーネスカバー内で青カプラー以外を接続して下さい。茶、緑カプラーは⑩ハーネスカバーの外で接続して下さい。

１０．③ＬＣＤメーターにスピードメーターケーブルを接続し、メーターコードに④メーター電源用配線を接続して下さい。

１１．②メーターサブコードを青カプラーに接続し、④メーター電源用配線、⑭、⑮、⑯インジケーターランプを接続して下さい。
（配線図参照）

１２．左右サイドカバーのシート固定ボルトを取り外し、シートを取り外して下さい。

１３．左右シュラウドを固定してある各３本のボルトのうち、最下部のボルト左右各１本とフューエルタンクを固定してあるボルトを取り外して下さい。

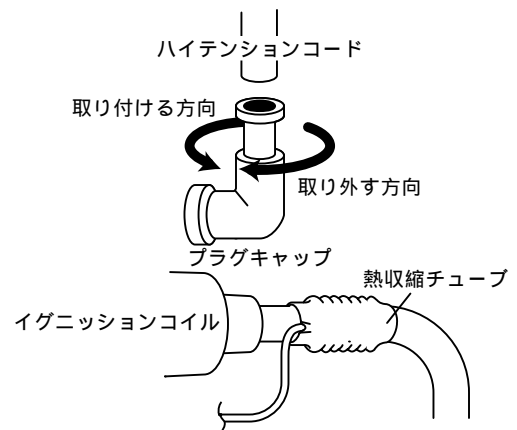
１４．フューエルコックをＯＦＦにし、フューエルコックよりフューエルチューブを外し、フューエルタンクを取り外して下さい。
ガソリンが車体等に掛かった場合は、直ちにウエス等で拭き取って下さい。
警告：火気厳禁。
注意：必ず冷間時に作業を行って下さい。

１５．④メーター電源用配線の茶コードと、⑤パルス入力配線を接続し、イグニッションコイル付近まで取り回して下さい。余った⑤パルス入力配線は、ハンドルをきった時に余裕がある長さで切断して下さい。ハイテンションコードよりプラグキャップを取り外し、ハイテンションコードのイグニッションコイル付近で⑤パルス入力配線を約３～５周巻き付け、ビニールテープ等で仮止めをし、⑪熱収縮チューブを被せ、ドライヤー等でチューブを収縮させて下さい。
警告：タンクにガソリンが入っていますので、ライター等の火を使い、チューブを収縮させないで下さい。

１６．プラグキャップ、フューエルタンク、シートを取り外しの逆手順で取り付けて下さい。

１７．エンジンを始動し、スピードメーターの照明ランプの点灯状態とインジケーターランプの点灯の作動を確認し、問題が無ければ②メーターサブコード、④メーター電源用配線、⑭、⑮、⑯インジケーターランプのコード、を⑩ハーネスカバー内で⑬タイラップを使用して束ね、⑫タイラップにて⑤パルス入力配線を、走行時邪魔にならないよう固定して下さい。
この時、⑩ハーネスカバーがヘッドライトの裏側の邪魔にならないように、メーター下付近になるようにして下さい。
余ったタイラップの先端部は、ニッパー等で切断し邪魔にならないようにして下さい。
警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させて下さい。

１８．ヘッドライトの３Ｐコネクタを接続し、フロントバイザを取り付け、安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。

～ハイテンションコード～

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ ０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ http://www.takegawa.co.jp

０９－０１－００５５　配線図
②メーターサブコード
⑭ニュートラル
インジケーターランプ
⑮Ｈｉ＆Ｌｏｗ
インジケーターランプ
⑯ターン
インジケーターランプ
③ＬＣＤ
スピード＆タコメーター
黒
赤
赤
黒
赤
黒
赤
黒
茶
赤
黒
茶
若葉
青
橙
黒／赤
黒／赤
緑
緑
6P MINI 青
若葉／黒
青
青／橙
青／茶
緑
黒／黄
緑
イグニッ
ションコ
イル
スパーク
プラグ
０９－０１－１０２２　配線図
②メーターサブコード
⑭ニュートラル
インジケーターランプ
⑮Ｈｉ＆Ｌｏｗ
インジケーターランプ
⑯ターン
インジケーターランプ
黒
赤
赤
黒
赤
黒
若葉
青
橙
黒／赤
黒／赤
緑
緑
6P MINI 青
若葉／黒
青
青／橙
青／茶
緑
Ⓐ
Ⓑ
別売り０９－０５－０１４０スモール
ＬＣＤタコメーター使用時に電源用とし
てご使用下さい。
０９－０１－００２
ホワイト＆ブラック
タイプ
黒
黒／赤
０９－０１－００３
ブラック＆グリーン
タイプ
赤
黒
０９－０１－００５
ＥＬタイプ
２Ｐ
白
緑
白
緑
白
緑
インバーター
０９－０１－００５１
ＬＥＤタイプ
黒
緑

Aug/28/ 03

αタイプ追補

ラージLCDメーターαのタコメーター設定について

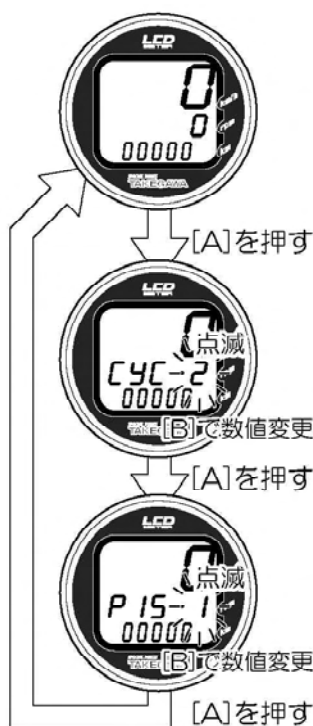
本ページは各種キット共通内容となっております。
お客様のバイクに合わせた値にメーター設定値を切り替えて下さい。

車名	商品番号	CYC-	PIS-
マグナ50	09-01-0211	2	1
ズーマー（キャブレター車）	06-02-0202/09-01-0056	2	1
TODAY（キャブレター車）	06-02-0303	2	1
AF62 ディオ	06-02-0301	2	1
スペイシー100	06-02-0305	2	1
ディオ（2サイクル）	06-02-0302	2	1
JOG（2サイクル）	06-02-0304	2	1
XR50/100モタード	09-01-0288	2	1
XR250モタード	09-01-0055	2	1
KSR110	09-01-0054	2	1
KSR50/80	09-01-0054	2	2

タコメーターの設定変更手順

数値変更ボタン(文章中[B]ボタン)
設定項目切り替えボタン(文章中[A]ボタン)

車両のメインキーをON（車輌によってはエンジンを始動）にし、メーターの電源が入った状態（液晶表示がある）にしてください。

[A]を押す

[A]のボタンを押します。
画面に「CYC-」という表示が出ます。
この時、[B]のボタンを押す度に˝CYC-2˝⇔˝CYC-4˝と交互に表示が変わります。

ご自分のバイクに合わせ、どちらかを選択してください。
˝CYC-˝の選択が完了しましたらもう一度[A]ボタンを押してください。

[A]を押す

点滅
PIS-1
[B]で数値変更

画面に「PIS-」という表示が出ます。
この時[B]のボタンを押す度に˝PIS-˝の右側の数表示が変わります。
上記で˝CYC--2˝を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒1⇒2⇒・・・・となります。
また ˝CYC-4˝を選択した場合は1⇒2⇒3⇒4⇒5⇒6⇒8⇒1・・・・となります。
ご自分のバイクに合わせ、選択してください。

[A]を押す

すべての設定が完了し、[A]ボタンを押すと設定変更画面から標準画面に戻ります。

エンジン種類[CYC-]、気筒数[PIS-]について

ここでの[エンジン種類、気筒数]はクランクシャフト1回転辺りの発火回数を表すための例えです。
ですから、実際のバイクのエンジン種類や気筒数とは異なる場合があります。

0.5回はクランクシャフト2回転に1回発火を表しています。

クランクシャフト1回転あたりの発火回数	0.5回	1回	1.5回	2回	2.5回	3回	4回
CYC-2　(2サイクルエンジンの例え)		PIS-1		PIS-2		PIS-3	PIS-4
CYC-4　(4サイクルエンジンの例え)	PIS-1	PIS-2	PIS-3	PIS-4	PIS-5	PIS-6	PIS-8

(PIS-は気筒数の例え)

●ご自分のバイクの発火回数が分からない時
エンジン種類は[CYC-2]固定で、まず気筒数を[PIS-4]に設定し、エンジンを軽くふかして表示数値を確認してください。
気筒数[PIS-4]では大抵実際よりも少なく表示されますので、様子を見ながら PIS-3 → PIS-2 → PIS-1 と数値を変えて行くと表示数値が増え、丁度良い設定が見つかります。

モンキー系エンジン、エイプ系エンジン、その他4サイクル1気筒、4気筒のエンジンの多くがクランクシャフト1回転あたり1発火ですので設定は[CYC-2、PIS-1]となります。
2サイクル1気筒のバイクの一部やインナーローター装着車では、クランクシャフト1回転あたり2回発火[CYC-2、PIS-2]の場合があります。